

▶地域の防災力向上のために実施した防災マップを使った図上訓練



▶大きな被害が出た平成16年台風23号災害



国、県で対応しています。手をつけない箇所は、市役所都市整備部および産業経済部の担当職員を現地へ行かせます。

Q. 井上医院の100坪上流の大屋川護岸の未復旧箇所への対応はどうなっていますか。

A. 県八鹿土木事務所の対応箇所であると思いますが、再度確認します。

Q. 市道高柳小佐線を完成させる理由は何ですか。

A. 平成8年から着手し、但馬長寿の郷、全天候運動場(県CSR施設)へのアクセス道路として完成させます。

Q. 宿南地区の災害復旧事業の全体計画、進捗状況などを示してください。

A. 円山川の逆流と三谷川、青山川の増水によるはん濫の原因すべてを改良することは難しいと考えています。円山川の逆流については、川幅を広げる本流工事によってある程度は防げるようになると思います。三谷川は、河口合流点から980坪を改良します。青山川は、本年度上流に砂防えん堤を1基設置し、もう1基は次年度以降計画的に進めていきます。さらに、市道改良工事により堤防の役目をさせ、人家への災害を防ぐように計画しています。進捗率

は、まだ何%と言えるような段階に至っていません。

Q. 宿南地区の浸水の大きな原因の一つが円山川の逆流です。ポンプ排水などができませんか。

A. 県と協議しましたが、経費面や工法面で難しい状況です。また、ポンプでは、内水の処理ができなくなるのが予想されます。円山川本流の改修工事を行っていますし、期成同盟会と協議しながら三谷川、青山川の改良工事も進めていきます。

Q. 三谷川に砂防えん堤を造ってください。

A. 要望が多い事業ですのでどうなるか分かりませんが、区長さんと現地確認をするなど、必要とあれば県土木事務所に要望します。

Q. 小谷川において円山川までの工事を市となっても継続されますか。

A. 小谷川の工事は、上流が砂防河川であることから、県土木事務所の河川事業で実施してもらおうようにお願いしています。小谷川の合流点までは中山間事業により行い、平成19年度実施設計、平成20年度着工の予定で進めています。それ以外は調整中です。

Q. 岩崎川の災害復旧が行われていないのはなぜですか。

A. 平成16年災害の復旧は、地域ご

とに調整し、実施しています。採択された箇所なのかを含めて再度調査させていただきます。

Q. 農地が冠水するため小谷川の大積土砂の撤去を望みます。

A. 平成20年度と21年度に水路改修を行う予定です。早急に現地を確認します。小谷川については、上流に土砂えん堤がありますが、さらなる対応が必要だと考えています。

◎防災体制などについて

Q. 災害時の連絡などは「区長さんを通じて」と言われますが、直接個人が市役所に連絡してはいけないのでしょうか。

A. 原則として、区長さんに取りまとめていただくのが良いと考えています。しかし、緊急の場合など直接連絡していただいても結構です。

Q. 防災マップに示されている避難場所は耐震検査を行っていますか。

A. それぞれの避難所すべてが耐震検査を受けた施設とは言えません。お配りしている防災マップは、あくまで浸水や土砂災害を想定して作成したものです。それぞれの災害の状況によって、地域でより安全な場所を地元で相談していただくようお願いいたします。